





交通安全ニュース

(一社) 滋賀県トラック協会 安全環境委員会

令和 6 年 2 月
第 1 5 5 号

能登半島へ緊急物資輸送を実施

本年 1 月 1 日午後 4 時 1 0 分ころに発災した能登半島地震に伴い、滋賀県との協定に基づき、翌 2 日に県防災危機管理局から緊急物資輸送の要請を受けたのを皮切りに、県、市町の物資拠点 9 箇所から会員 1 1 業者、1 4 台のトラックにより、飲料水、食料、紙オムツ、段ボールベッド、ブルーシート等を被災地に緊急物資輸送を実施しました（1 月 2 4 日現在）。

2 ～ 3 日の正月休みから 6 ～ 8 日の 3 連休にかけて、トラックの手配に奔走して頂きました各支部の皆様には、大変な御労苦をお掛けしましたことに感謝を申し上げます。

今後も数次にわたる物資輸送の可能性があり、その際には、各支部長様には緊急にトラックの手配連絡をさせて頂きますので、ご協力をお願い致します。

昨年死亡事故はゼロ 発生件数の目標は達成されず (目標：死亡事故ゼロ、発生件数 3 5 件以下) ～ 令和 5 年中の県内のトラック事故 ～

トラックドライバーの皆さん、日々、安全運転に努めて頂いておりますことに、深甚なる敬意を表します。

昨年、滋賀県のトラックの交通死亡事故はゼロでしたが、事故発生件数は 39 件で、2 件減少しましたが、年間抑止目標は達成されませんでした。

令和 6 年は目標達成できますよう、皆様の日々の交通安全をお願いします。

- 昨年県内で発生した事業用トラック(滋賀ナンバー)の第 1 当事者事故(確定値)

発生件数	3 9 件 (前年比 - 2 件)
死者数	0 人 (前年比 ± 0 人)
負傷者数	5 0 人 (前年比 - 1 人)

- 昨年県内で発生した交通事故件数(確定値)

発生件数	2, 767 件 (前年比 - 95 件)
死者数	43 人 (前年比 + 5 人)
負傷者数	3, 375 人 (前年比 - 224 人)



高速しが

令和6年
(2024)
2月号

発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

地震への対策を!

世界でも有数の地震国“日本”。今年1月には、石川県能登半島で最大震度7の揺れを観測する非常に強い地震が発生し、交通網に重大な被害をもたらしました。高速道路走行中のある日突然大地震に見舞われたとき、あなたはどのような対策がとれますか？その時のために基本的な対策と運転マナーを心得ておきましょう。

走行中地震に遭遇したときは。



★急ハンドル、急ブレーキをかけないで、ゆっくりと減速し、あわてずに道路の左側路肩に停車しエンジンを止めましょう。



★エンジンを止め、ハザードランプを点灯してガードレールの外などに避難しましょう。



★車両火災が発生したら、直ぐに119番して可能であれば消火器等で初期消火、危険であれば消防を待ちましょう。

★長大のり面の下、トンネル出入口付近では、崩落の危険があるので極力その場所を避けて停車しましょう。

★ラジオ等で最新の情報を収集し、周囲の状況を確認しながら行動しましょう。

やむを得ず車から離れるときは

- ※エンジンを停止させ、窓ガラスをしっかりと閉めましょう。
- ※ドアはロックせず、エンジンキーを車内に置いておきましょう。
- ※可能であれば車内に連絡先を記したメモを残しておきましょう。
- ※貴重品等は、車内に残さないようにしましょう。

“過信”の陰に“危険”がひそむ

⊖アイスバーンはスケートリンクと同じ

アイスバーンの路面は、乾燥路面の8倍もすべりやすく、一度すべり出したらほとんどコントロールが利かなくなります。

凍結注意

⊖ワイパーが浮き上がって利かない

フロントガラスに湿った雪がたまり、ワイパーが浮き上がって全く利かなくなることがあります。



⊖雪はねで目の前真っ白

大型車などと並行して走行している時、車輪で雪をはねられ、一瞬目の前が見えなくなることがあります。慌てて急ブレーキや急ハンドルなどの操作を行わないようにしましょう。



⊖シャーベットは急にすべり出す

雪の降り始めや雪解け時に起きるシャーベット状態、タイヤの溝に雪がつまった時など突然すべり出します。

⊖わだちはハンドルを取られる

踏み固められた圧雪状態の路面は、傾いていたり、凸凹していたり、わだちができて予想もしない方向に車が進んでしまうことがあります。



⊖地吹雪で前が見えない

地吹雪は地上2メートルくらいまで巻き上がります。乗用車は前後左右全く視界が失われることがあります。

⊖ヘッドランプ、テールランプに雪が付着

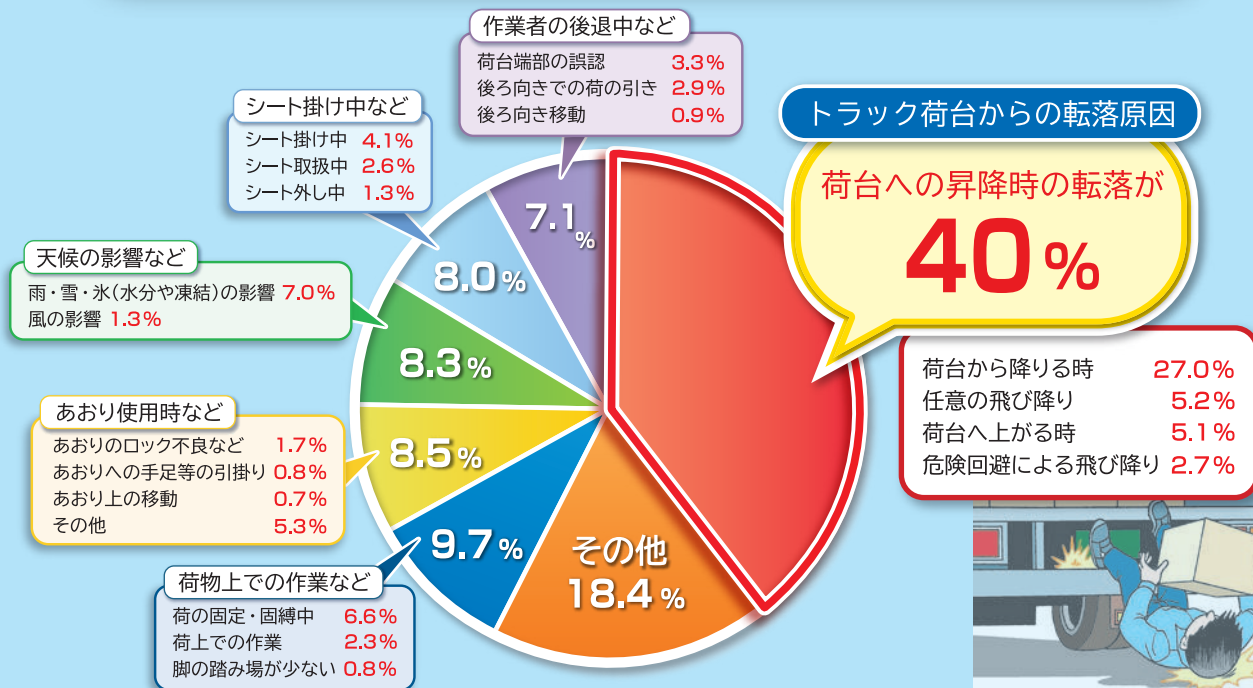
前が見えにくく、後ろの車からも確認しづらいので危険。サービスエリア・パーキングエリアでこまめに除いてください。



陸上貨物運送事業における トラック荷台からの 転落を防ぐために

荷台昇降設備・装備はありますか？

陸上貨物運送事業（トラック運送事業）における労働災害は、荷役作業中に発生したものが全体のおよそ7割を占めています。特に荷台からの転落が多いことが知られていて、このうちトラック荷台等への昇降時に発生するものがその約4割を占め、とりわけ荷台から降りる時が約3割を占めることが分かりました。このほかの原因による労働災害は、各要因とも1割にも満たないなど、「荷台から降りる時」などの昇降時が突出しています。このため、本リーフレットでは、トラック荷台への昇降時の労働災害を防ぐために、最新の安全対策とともに、転落防止に役立つチェックポイントを紹介します。



平成27年に発生した陸上貨物運送事業の休業4日以上災害を対象とした労働安全衛生総合研究所の分析結果

(トラック荷台からの転落等による災害データのみを抜粋)



厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署



独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

JNIOSH

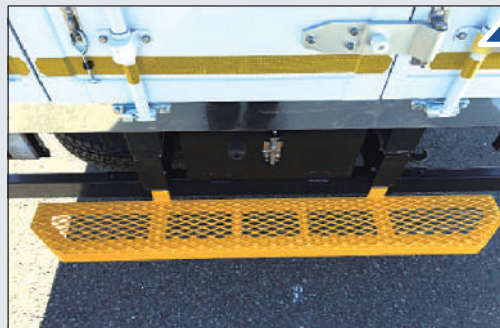
落ちないポイント

1

トラックの荷台は元々高くてワンステップでは上れません。
もちろん飛び降りもしてはいけません。
ステップを用意することで無理な昇降になりません。

リヤとサイドにステップを付けて昇降性向上!

荷台へ昇降しやすい装備 (ステップ利用①)



「リヤステップ」

バン型車のリヤステップ部を網状にすることで、滑り止めの効果を持たせます。また、降雪時でも雪等が積もりにくくなります。対象車種は、小・中・大型クラスで、ボディ形状はバン型、冷凍冷蔵、ウイング、平ボディです。

荷台へ昇降しやすい装備 (ステップ利用②)

「サイドステップ」

バン型車のリヤ・サイドステップ部に突起のある穴あけ加工をすることで、滑り止めの効果を持たせます。また、降雪時に雪等が積もりにくくなります。対象車種は、小・中・大型クラスで、ボディ形状はバン型、冷蔵冷凍です。



トラック荷台からの 転落防止

バン型車のリヤステップ利用

「リヤ階段ステップ (格納式)」

リヤドアの下部に取付けて、リヤドアから昇降するための格納式の階段ステップです。対象車種は、小・中・大型クラスで、ボディ形状はバン型、冷蔵冷凍、ウイングです。



ウイング車のサイドステップ利用

「あおり内側回転式ステップ」

あおりの内側に、あおりを下ろした際に回転してステップとなる部分があり、このステップを利用すると荷台への昇降が容易になります。対象車種は、小・中・大型クラスで、ボディ形状はウイングです。



な対策

グリップを持つことで、ステップから足を滑らせたり、踏み外した場合でも、転落事故を防ぐことができます。荷物を持ちながらの昇降をしてはいけません。

落ちないポイント
2

荷台へ昇降しやすい装備（グリップ利用①）



▲ 鋼製グリップ

▼ ヒンジ連結タイプ



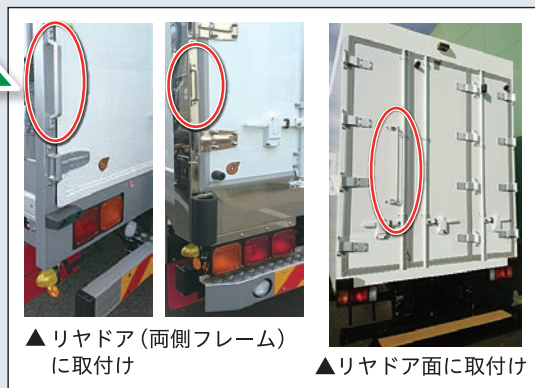
「リヤフレーム部グリップ」

グリップを取り付けすることで、荷室・庫内への昇降が安全に行えます。また、ヒンジ連結の長丈タイプはドライバーの身長に関係なく使用できるのが特徴です。対象車種は、小・中・大型クラスで、ボディ形状はバン型、冷蔵冷蔵、ウイングです。

荷台へ昇降しやすい装備（グリップ利用②）

「リヤドア面グリップ」

リヤドア面（両端フレーム）にグリップを取り付けて、庫内および庫外に安全に昇降する時のグリップです。対象車種は、小・中・大型クラスで、ボディ形状はバン型、冷蔵冷蔵、ウイングです。



▲ リヤドア（両側フレーム）に取付け

▲ リヤドア面に取付け

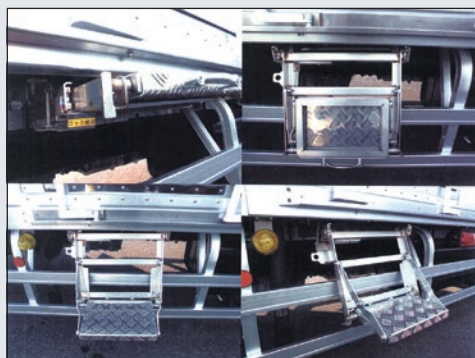
対策 はここまで進んでいます。

ステップとグリップの合わせ技でがっちり3点支持

格納式サイドステップ利用

「格納式ステップ」

ボディより外側に可動式のステップを取り付けることで、昇降性を向上します。対象車種は、小・中・大型クラスで、ボディ形状はバン型、冷蔵冷蔵です。



持ち運び可能なステップ利用

「手すり付荷台用ステップ」

荷台への昇降に、あおりを立てたままでも、下ろしても設置可能なステップです。天板もついているので、身体の向きを変えることもできます。対象車種は、小・中・大型クラスで、ボディ形状はウイング、平ボディです。



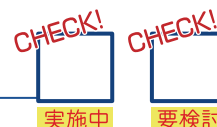
荷台への昇降中における 転落防止チェックポイント

確認してみよう！ 作業手順・マニュアルを再点検

あなたの事業場では、荷台への昇降手順は適切ですか？ ①～③を参照し、点検してみましょう。
不十分な場合は、本リーフレットで紹介した装備の追加、手順・マニュアルの見直し等を実施しましょう。
注) グリップやステップ等を装備する際には、道路運送車両法の保安基準に適合しているか十分に確認してください。



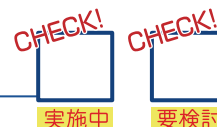
1 バン型車のリヤ部



リヤドアフレームに装備したグリップ(取手)を持ち、足元を見ながらリヤドア下部のリヤバンパーまたはステップに片足をかけて、荷台に上がります。降りる時もグリップを持ったままステップに足をかける順序で、荷台内側を正面にみて後ろ向きに降ります。車体形状の都合上、両手でグリップを持てませんが、荷台の床面に手を添えると前屈み姿勢になるのでより安定します。



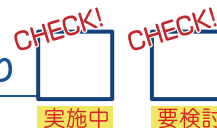
2 バン型車のサイド部



ドアフレームに装備したグリップ(取手)を持ち、足元を見ながら、サイドステップに片足をかけて、荷台に上がります。降りる時は上がる時の逆の順序で移動します。ちなみにサイド部はグリップをドアフレーム両側に装備できる場合が多いようです。両手で持つと身体の姿勢が安定し、より安全に昇降できます。



3 ウイング車、平ボディ車のあおり



あおりを下ろした時は、ステップだけでなくグリップ(取手)や手がかりがないので昇降するのが困難です。あおり内側回転式ステップの装備、持ち運び可能な荷台用ステップ等を使用しましょう。グリップは車体内部あるいは荷台床面に装備するか、車体の柱等をグリップ代わりに活用しましょう。

本リーフレットの写真等は、国土交通省及び(公社)全日本トラック協会が設置した「女性ドライバー等が運転しやすいトラックのあり方検討会」で取りまとめた成果「【別冊】トラックメーカーなどの取組事例集」から引用しています。



このQRコードから
別冊が入手可能です